

## 令和3年度 日本大学 認定こども園 自己評価票

### 【本園の目指すこども園像】

日本大学教育理念である「自主創造」に基づき、「のびのびと自己を発揮し、人と共に生きる子ども」を育てていくことを目指し、子どもの意欲や興味、関心、好奇心、探求心などの心情、考える力、学ぶ力を豊かに育てていく。

### 【本園の特長及び課題】

日本大学認定こども園は幼保連携型認定こども園である。幼児期の学校教育を担ってきた幼稚園と、養護・保育を主とした保育所機能を一体化して「質の高い教育・保育」を提供するとともに、子育て支援を軸とした、地域を支える機能を発揮していかなければならない。

### 令和3年度の取組結果

#### 〔概況〕

- ・設立5年目、0歳児から5歳児までの園児189名が在籍する活気にあふれるこども園である。コロナ禍にありながら、本園が目指す「質の高い教育・保育計画」の実現に努め、子どもたちの健康な心と体と健やかな成長を確認することができた。
- ・利用者が乳幼児という事で、毎日の保護者対応は丁寧に行い、子どもの姿や成長を伝えている。
- ・園見学を再開。感染症対策として、一回の人数を制限し行った。123名の見学者となり、入園希望につながった。
- ・在宅で子育てをしている方を対象とした子育て支援「おでかけひろば」を6月にスタートし、利用者数は累計170名の登録、700名以上の利用となった。保護者の方々が安心して遊ばせる場となり、また育児相談にも乗り利用者の支援を行った。
- ・地域への子育て支援（地域交流）は昨年より回数と内容の充実を図り実施した。参加者には大変好評で、開催回数や参加人数を増やしてほしいとの声があるが、コロナ禍でなかなか難しいところである。

### 教育課程・指導

取組目標	取組結果・進捗状況	達成状況
学びの芽生えを身につける	自ら環境に関わって主体的に遊べる環境を整えた。室内では五感を刺激できるように木製遊具を多く取り入れ、構築遊びができるようにした。また、友だちと関わって遊ぶための、「ごっこ遊び」の用具や小物を手作りし、多く取り揃えた。戸外では、全身を使い、汗を流して遊ぶ事を楽しむため年齢に合わせた集団遊びを計画的に取り入れ、固定遊具を利用した運動指導を行った。さらに、昆虫が集まる草花を植え季節感あふれる園庭環境を充実させた。これらのことが、子どもの好奇心や探究心、挑戦する意欲、コミュニケーション力等の向上につながった。	A
豊かな人間性を身につける	様々な体験・行事等の教育・保育を通して非認知能力を育てることを目指した。関心を持ち、物事に取り組み、友達と協力し合い、相手の思いを考えて行動する姿につながった。また、子どもの知りたいという好奇心や探究心を更に伸ばすために、図鑑や辞典、絵本を多く取り揃え活用した。	A
健康な身体づくり	衣服の着脱、手洗い、うがい、食事、排泄等、子ども一人ひとりの発達や個人差に合わせ、基本的な生活習慣が身につくように日々丁寧に繰り返し指導した。また、身体を使い遊ぶこと、自己を表現するため音楽を楽しむことなども、計画的に行った。	A

## 園生活への配慮

取組目標	取組結果・進捗状況	達成状況
安心・安全な環境と教育・保育	今年度もコロナ感染拡大予防をいかに徹底していくかが大きな課題であった。子ども、保護者、教職員の健康管理の徹底、大人のマスク着用、園内や玩具の定期的な消毒、食事時のパーティション使用、午睡時の工夫を行った。陽性者が出た場合は、速やかに正確な情報を収集、整理し、関係機関と連絡をとり、適切な対応を行った。子どもたちが非常時に備えられるよう、毎月の避難訓練、消防署と連携を取りながらの消火訓練、警察署と連携を取りながらの不審者訓練を実施した。また、職員が消防団員となり、防災活動を積極的に行った。 保育室や園庭の安全チェックを毎月実施し、異常を迅速に見つけ改善につなげた。	A
伝統や四季を感じる行事と環境工夫	日本の伝統的な文化・行事を積極的に教育・保育に取り入れ、製作、歌、食事、表現活動を楽しんだ。1年を通し四季を感じられる自然のある園庭にするため、定期的に手入れをし、園児たちと花や野菜を植えたりなど計画的に行った。	A
食育	子どもたちが自分たちで育てた野菜を給食で食べたり、遠足で掘ったさつまいもでの茶巾絞り、種もみから育てたお米を給食で食べる活動を通し、食べ物への関心や感謝につながった。	A

## 情報提供・管理

取組目標	取組結果・進捗状況	達成状況
保護者への情報提供と共有	災害や感染症など緊急かつ正確性を要する案件について、利用者へ掲示、メール配信を行った。教職員は日々の昼令で情報共有を行った。また、「園だより」や「クラスだより」を毎月配布し園の活動状況などを伝えた。	A
ホームページ	園に関心のある多くの方が見ているホームページは定期的に更新し、こども園の取組や案内等を配信した。コロナ感染拡大予防として、入園説明会、保護者会、新入園児保護者会は Web 配信とした。	A

## 管理運営

取組目標	取組結果・進捗状況	達成状況
教員の意識向上の徹底	毎年改訂する「教職員ハンドブック」による基本的事項の提示、面談を通じた各自の自己目標に基づく取組の振り返り、保育記録類への指導を通して、教員一人ひとりの成長を促した。0歳から5歳までの一貫した教育・保育のために毎月カリキュラム反省会議を行い、こども園として共通目的や共通認識を確実にした。学年会議・リーダー会議を定期的に行い、情報共有や保育についての話し合いを行った。	A
本学学生との交流	豊山女子高等学校の生徒の体験学習、芋ほり遠足での生物資源科学部の学生との一緒に作業を通し、交流を行った。	A
安全対策	受診を伴う怪我（事故報告）、怪我につながりそうな要因（ヒヤリハット）は、原因、対応策を明確にした後、受診内容等も含め詳細に記録し、教員間で共有した。	A

## 保護者との連携・子育て支援等

取組目標	取組結果・進捗状況	達成状況
保護者参加の行事	コロナ感染予防対策の中で、行事をいかに実施していくか、見直しを行った。子どもの成長や学びにとって意味のある行事への参加を通し、子どもの成長を共有し、園の方針を理解していただいた。	A
世田谷区一般指導検査の結果を生かす	世田谷区一般指導検査では、必要な書類がきちんと揃っていることなどが評価された。これまでの取組が評価されたことを認識し、園運営に生かした。	A
個人面談	保護者からの相談には迅速に対応、面談を行う。丁寧な対応を心掛けた結果、共通の認識を持ち、子どもの成長などの情報共有や信頼関係構築につながった。	A

## 地域との連携

取組目標	取組結果・進捗状況	達成状況
近隣小学校との交流	コロナ感染予防を考慮し交流は計画のみとなった。就学に当たり、小学校と情報交換を丁寧に行った。	B
近隣との交流	地域交流の回数を昨年より増やし、地域の未就園児と在園児とが一緒に遊んだりするなど活発に行うことができた。	A
子育て支援	「おでかけひろば しろつめくさ」を令和3年6月に開設した。在宅で子育て中の親子や出産を控えている方が気軽に遊びに来たり、育児相談ができたりする場所として、週2日実施した。延べ170名が登録し、700名以上の方が利用した。	A
保育ネット世田谷	災害時や非常事態の時に備えて、避難体制や日頃の情報共有を行った。地域園とは、リモート会議を行い、コロナ対応や教育保育面など、情報交換をし、園運営に生かした。	A

※【A達成できた、B大体達成できた、Cあまり達成できなかった、D達成できなかった】

## 令和4年度の取組目標及び方策

### 教育課程・指導

取組目標	取組方策	取組スケジュール
学びの芽生えを育てる	子どもが興味・関心をもって主体的に遊びたいくなる環境を作り、学びの芽を育てていくことを目指す。	通年
豊かな人間性を身につける	虫や植物の世話や観察を通し、命を大切に思う気持ちを育てる。様々な活動や行事を通し、感情体験や気持ちのやり取りと共感を大切にすることで子ども同士の関わりを深めることを目指す。外部講師による特別教育、(リトミック・英語・運動)の活動で、ルール、体の動かし方、協同する楽しさ、悔しさ、達成感、心地よさなどの心情を育むことを目指す。	通年
健康な身体づくり	衣服の着脱、食事、排泄、片づけ等生活に必要な基本的な生活習慣を身につけ、各年齢の発達の特徴に沿って身の回りのことを自分で行えるようになることを目指す。身体を思いっきり使った遊びや、運動を積極的に行い、健康的な身体と体力作りを目指す。	通年

## 園生活への配慮

取組目標	取組方策	取組スケジュール
安心・安全な環境と教育・保育	感染予防対策の徹底を図る。遊具の安全点検，午睡時のチェックや食事等，安全な環境の提供に努める。	通年
伝統や四季を感じる行事と環境工夫	日本古来の伝統行事を製作や表現の場で子どもたちが楽しめるよう教材の工夫，行事の工夫をする。四季を感じる園庭の環境作りに努める。	通年
食育	感染予防対策を図り，皆で調理したり，一緒に食べる楽しさを味わうような環境作りに努める。季節の食材や行事食を取り入れ豊かな食文化の環境を目指す。	通年

## 情報提供・管理

取組目標	取組方策	取組スケジュール
保護者への情報提供と共有	災害や感染症など緊急かつ重要な案件について，保護者と教職員双方に速やかに，適切な情報提供を行うことを徹底する。日々の子どもの様子を丁寧に保護者に伝え，子どもの育ちを共有する。	通年
ホームページ	定期的な更新を行い，園の取組や情報を発信していく。	通年

## 管理運営

取組目標	取組方策	取組スケジュール
教員の意識向上の徹底	「教職員ハンドブック」を改訂し，職員会議，カリキュラム反省会議，学年会議，日々の指導を通して，こども園の目的や施策内容等の共通認識を促進していく。教職員一人ひとり保育者として，組織の一員としての意識向上を図る。非常勤・保育補助を対象としたハンドブックを作成し，園全体で意識向上を目指す。	通年
本学学生との交流	豊山女子高等学校からの体験学習生と交流を図り，スケールメリットを生かした活動を行う。	7・8・10月
安全対策	子どもの安全・安心を最優先に，事故や怪我を未然に防ぐ。感染症対策，衛生・健康面の管理体制，午睡時の安全チェック，食事時の安全，災害や不審者を想定した避難訓練などに取り組む。危機管理委員を2人とし，園の安全対応・対策に取り組む。	通年

## 保護者との連携・子育て支援等

取組目標	取組方策	取組スケジュール
保護者参加行事	日程や内容を工夫し，多くの保護者に参加してもらい，園の方針の理解と子どもの成長を共有していくことの継続に努める。	通年
第三者評価を生かす	設立して2回目の第三者評価を受ける。評価の内容を，園運営に生かしていく。	通年

個人面談	保護者と園が共通の認識を持ち、子どもの成長を見守り促すために個人面談を行う。	通年
------	--	----

#### 地域との連携

取組目標	取組方策	取組スケジュール
近隣小学校との交流	幼児期と小学校入学において、育ちと学びをつなげ、連続性のある滑らかな接続ができるよう、感染予防を工夫し、交流・連携する。	3学期
保育ネット世田谷	災害時等の非常事態に備えて、避難体制や日頃の情報の共有を行っていく。また、共に、同じ目線で学び合う。	通年

#### 中長期的目標及び方策

##### 子育て支援

取組目標	取組方策	取組スケジュール
地域子育て支援拠点事業及び子育て相談事業の充実	在宅で子育て中の親子や出産を控えている方が気軽に遊びに來たり、育児相談ができたりする場所として、「おでかけひろば しろつめくさ」を、引き続き週2日実施する。	通年

#### 地域との連携

取組目標	取組方策	取組スケジュール
良好な関係づくり	近隣の意見に耳を傾け、できること、できないことへの対応を丁寧に説明し、より良い信頼関係を築いていく。	通年

#### 管理運営

取組目標	取組方策	取組スケジュール
人的面での保育の質の向上	3～5歳児の各クラス（各クラス定員25名）については、専任教員による複数担任制を継続する。	通年